

都市再生整備計画(第4回変更)

櫛形地区

山梨県 南アルプス市

平成21年 3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	山梨県	市町村名	南アルプス市	地区名	檜形地区	面積	967 ha
-------	-----	------	--------	-----	------	----	--------

計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度
------	---------------------	------	---------------------

目標

- 目標1: スポーツ・レクリエーション交流人口の拡大による地域の活性化 - 「健康でにぎわうまちづくり」
- 目標2: 生活関連施設の整備による生活環境の改善 - 「快適なまちづくり」
- 目標3: 防災拠点とその周辺整備による防災機能の向上 - 「安全なまちづくり」
- 目標4: 地域交流センター活用による地域の活性化と防災意識の向上 - 「心かよいあうまちづくり」
- 目標5: 子育て世代活動支援センター活用による子育てに対する不安感の解消 - 「健康で安全なまちづくり」

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

南アルプス市は、平成15年4月1日に5町1村の合併により誕生した。  
 本計画地区は市の中心市街地のうち、高校や小中学校、総合公園、図書館や美術館、ホール等が集積する文教及びスポーツ・レクリエーション地区である。  
 特に、平成11年に完成した檜形総合公園(13.2ha)は全国からランナーが集う南アルプス桃源郷マラソン大会会場であり、また東海地震強化地域に指定されている本市の広域防災公園でもある。  
 平成16年3月2日の中部横断自動車道南アルプスインターチェンジの供用は、本地域を広域的な交流拠点エリアとさせた。  
 本計画地区への集中的な都市基盤整備による都市再生、人々の交流の場にふさわしい安全で快適な都市空間の形成が急務となっている。

課題

街路や下水道などの生活インフラに加え、緑道や街角公園などのオープンスペースを整備することが必要である。  
 東海地震等大規模災害に備えるため、避難地や避難路の整備、既存公共施設の耐震化が必要である。

将来ビジョン(中長期)

第1次南アルプス市総合計画：地域の将来像を「人と自然が響き合う新文化都市・南アルプス」と設定し、恵まれた自然環境にふさわしい安全で快適な生活環境の確保と交流の拡大による新しい地域文化の創出を図っていくこととしている。  
 都市計画マスタープラン(策定中)：本計画地区は良質な住環境を有した文教及びスポーツ・レクリエーション地区として整備を進める予定である。  
 緑の基本計画(策定中)：本計画地区にある総合公園等緑のオープンスペースの充実整備により、スポーツ・レクリエーション及び防災の拠点づくりを進める予定である。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
利用者数	人/月	市営スポーツ施設利用者数	交流人口拡大度合いを計測する指標	24,230	H17	H22
施設利用満足度	%	公園や子供の遊び場に関する住民の満足度	施設利用者の感想を計測する指標 生活環境の改善を計測する指標	30.4	H17	H22
水質	mg/	河川の平均BOD	生活環境の改善を計測する指標	2.59	H17	H22
移動時間	分	市役所から野球場駐車場までの移動時間	交通利便性の向上を計測する指標	12.0	H17	H22
利用者数	団体/月	地域交流センターの利用団体数	交流人口拡大度合いを計測する指標	5.0	H17	H22

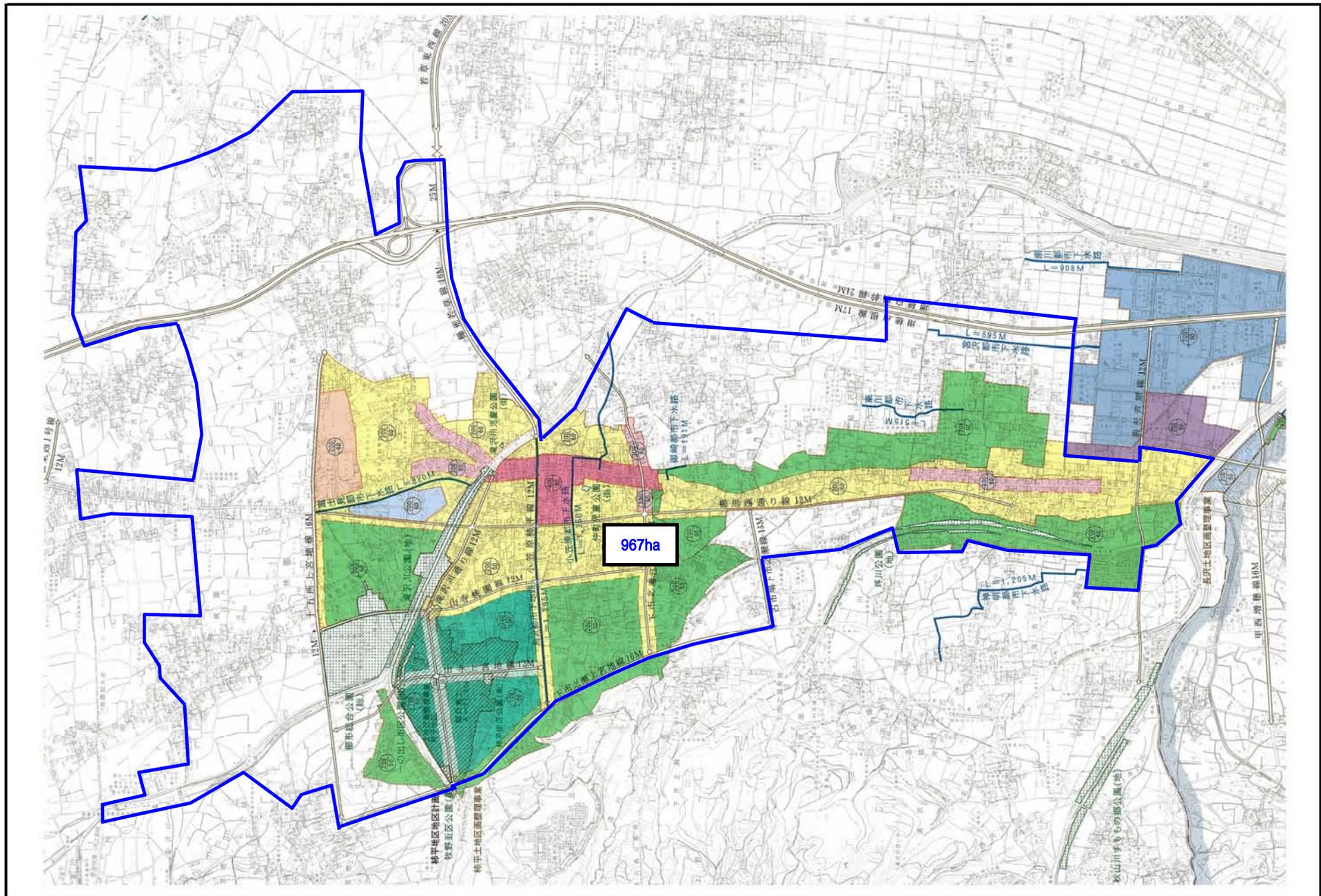
## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・整備方針 1 芝生広場や多目的広場を備えた都市公園と周辺道路の一体整備により、子供からお年よりの健康増進と交流の促進を図る。</p>	<p>公園(基幹事業/櫛形総合公園) 道路(基幹事業/山寺上宮地線道路改良、櫛形7号線歩道設置) 地域生活基盤施設(基幹事業/サイン整備)</p>
<p>・整備方針 2 道路、公園、広場、下水道の整備により、生活環境の改善を図るとともに、子育て支援活動センターや地域活動支援センターについては、地域の二次避難所、合わせて救援活動の地域拠点として位置付ける。</p>	<p>公園(基幹事業/牧野街区公園、一の出し街区公園) 道路(基幹事業/大和川橋歩道橋設置、櫛形7号線交差点改良) 下水道(基幹事業・提案事業/桃園地区公共下水道) 県道南アルプス線雨水渠(関連事業/山梨県) 地域生活基盤施設(基幹事業/桜橋緑地、サイン整備、桜井緑地) 高次都市施設(基幹事業/子育て世代活動支援センター 提案事業/大井保育所) 地域創造支援事業(地域活動支援センター)</p>
<p>・整備方針 3 防災拠点や避難地、避難路の整備により、住民が安心して暮らせる防災機能の向上を図る。</p>	<p>公園(基幹事業/櫛形総合公園) 道路(基幹事業/下市之瀬上宮地線道路改良、山寺上宮地線道路改良) 地域生活基盤施設(基幹事業/小笠原小学校体育館耐震整備、サイン整備、櫛形北体育館耐震整備) 提案事業/豊小学校体育館建替え、櫛形北小学校講堂建替え、櫛形北体育館バリアフリー化) 高次都市施設(基幹事業/地域交流センター)</p>
<p>その他</p> <p><b>事業終了後の継続的なまちづくり活動</b></p> <p>現在策定中の都市計画マスタープラン(H16-17)において「市民まちづくり研究会」を開催しており、この組織を母体として、平成18年度には本計画区域の市民を主体とした「まちづくり推進検討委員会」を立ち上げる。この検討委員会は、本事業の事後評価を行っていく他、まちづくり研究会やイベントの開催、さらにはまちづくり住民協定の締結等に関する活動を行っていく。</p> <p><b>町並み形成の誘導を図るための方策</b></p> <p>現在策定中の緑の基本計画(H17-18)において、景観法に基づく景観行政に取り組むべく計画策定方針と協議会の設立について検討している。 また現在策定中の公共サイン計画(H17)において、コミュニティサインシステムの構築とガイドラインの策定を行っている。</p>	



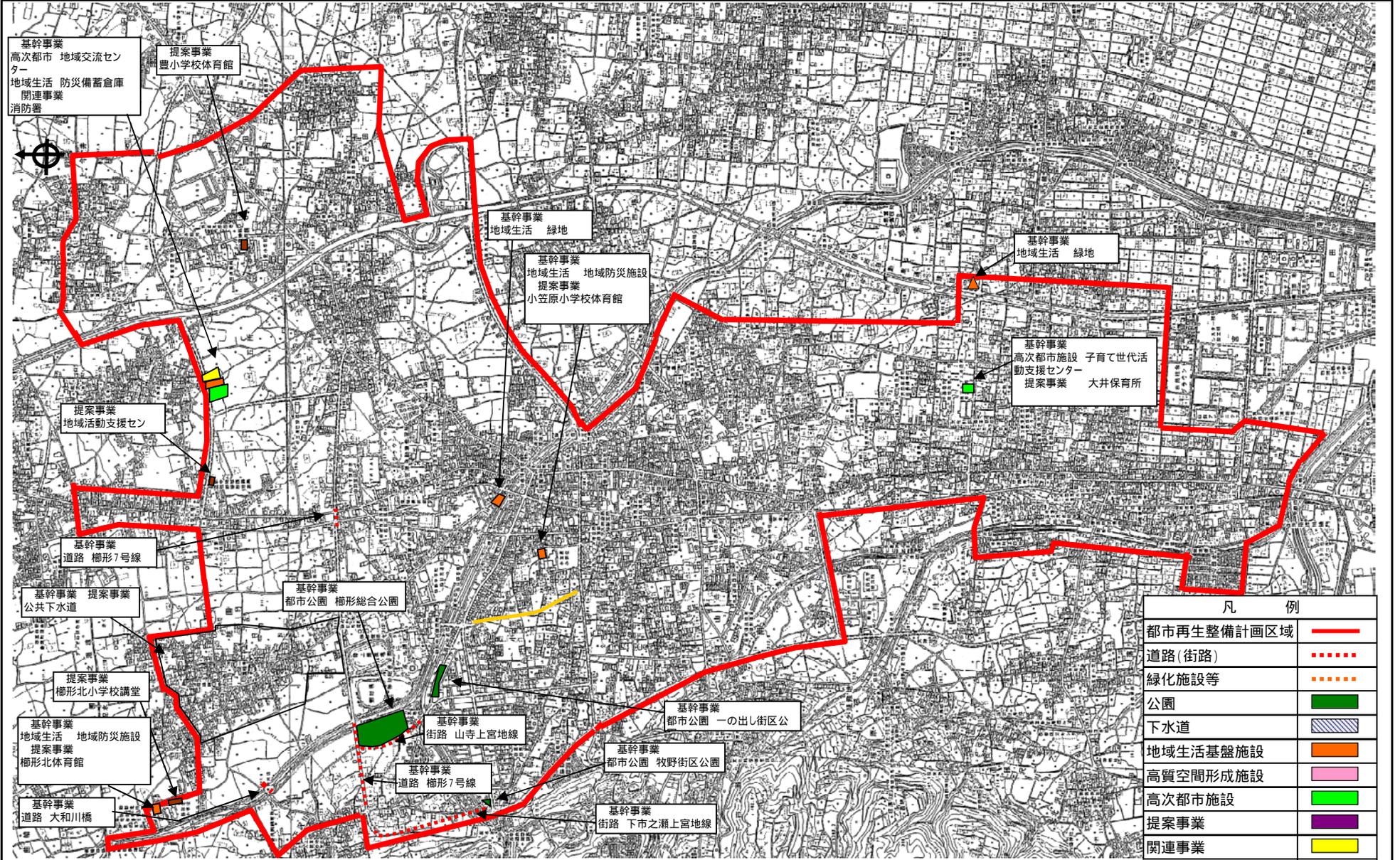
都市再生整備計画の区域

<p>楡形地区(山梨県南アルプス市)</p>	<p>面積 967 ha</p>	<p>区域 小笠原、桃園、上宮地、吉田、十五所、沢登、上今井の各地区の一部(追加:下宮地、江原、鮎沢、古市場、鮎沢、荊沢、大師、清水、落合の各地区の一部)</p>
------------------------	------------------	---



# 櫛形地区(山梨県南アルプス市)整備方針概要図

目標	目標1:スポーツ・レクリエーション交流人口の拡大による地域の活性化	代表的な指標	市営スポーツ施設の利用者数(人/月)	24,230(17年度)	26,700(22年度)
	目標2:生活関連施設の整備による生活環境の改善		公園や子供の遊び場に関する住民の満足度(%)	30.4(17年度)	33.0(22年度)
	目標3:防災拠点とその周辺整備による防災機能の向上		市役所から野球場駐車場までの移動時間(分)	12.0(17年度)	10.0(22年度)
	目標4:地域交流センター活用による地域の活性化と防災意識の向上		地域交流センターの利用団体数	5.0(17年度)	10.0(22年度)
	目標5:子育て支援センター活用による子育てに対する不安感の解消		子育てに対する親の不安感の解消度(%)	49.8(17年度)	43.0(22年度)



凡 例	
都市再生整備計画区域	— (Red outline)
道路(街路)	⋯⋯⋯ (Dotted line)
緑化施設等	⋯⋯⋯ (Dotted line)
公園	■ (Green square)
下水道	▨ (Hatched square)
地域生活基盤施設	■ (Orange square)
高質空間形成施設	■ (Pink square)
高次都市施設	■ (Light green square)
提案事業	■ (Purple square)
関連事業	■ (Yellow square)